



計画期間 令和7(2025)年度~令和11(2029)年度:5年間

## ① み が く

「コンパクトシティ」「つながり・子育て」など、このまちで感じる幸せや利便性を、さらにみがいていく。

## ② つ な ぐ

「自然・環境」「歴史・文化」など、このまちが先人から受け継いできた幸せを、しっかりと次の世代につなげていく。

## ③ つ く る

このまちの持続的な発展に向けた「産業創出」や①みがく②つなぐの新たな取組を通じて、働きやすさや豊かな生活が送れる環境などをつくっていく。

## ④ 実感する

「誇りを持てるまち」「住み続けたいまち」を目指し、このまちで暮らすことを幸せだと実感できる人を増やしていく。

## ⑤ 発信する

選ばれるまちの実現に向けて、このまちの魅力をしっかりと市の内外へ情報発信していく。

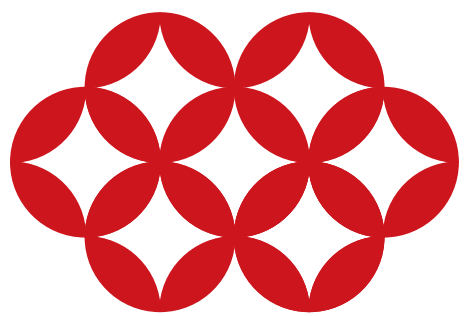
# 幸せになろう。

まるでプロポーズみたいで少し照れますが。あなたと松山市の関係を、ひとつ先に進めたくて、このスローガンは生まれました。新型コロナ、戦争、物価高、人口減少、自然災害 etc. 複雑で、不確かで、ものごとの予測が困難な時代に、「これからの松山」を考えるのは簡単なことではありません。そこでまず大切にしたのは松山の「現在」に想いをはせること。市民のみなさんとのワークショップ、意識調査、移住者の方へのインタビューなどを重ねていく中で、一つのキーワードが見えてきました。それが「幸せ」です。「海、山、自然の近さ」「歴史や文学のかおり」「あらゆるものに手が届くまちのコンパクトさ」「おだやかな人と気候」「自分のはやさで過ごせる時間」「手頃な住宅コスト」etc. 松山が持つこれらの魅力はすべて、人が「幸せを築く」ための種ではないか。その種をみなさんと守り、育て、また新しい種を見つけながら、ともに手を取りあって歩んでいけば、幸せが個で存在するのではなく、「幸せがつながるまち」＝“幸せ循環都市”になれるのではないかと。そう思ったのです。暮らす人、育つ人、移り住む人、旅する人。まず、一人ひとりの幸せが見える。その個としての幸せが、たくさんの音符が楽譜になるように、多彩な色の絵の具が一つの絵を生み出すように、都市として、松山としての幸せになっていく。その幸せが世界へシェアされ、ここへやってくる人がまた増え、より大きな幸せがつくられる、そんな未来。大都市では難しいことでも、幸せの種がぎゅっと詰まった松山でなら実現できる。「世界がめざす幸せはどこにある？」そう聞かれた時、「松山にあるぞ!」と誇れるまちになれる。そんな気がするのです。あなたと、幸せになる。あなたから、幸せがひろがる。そんなまちになりたい。きつとなれる。なりましょう。いま、胸を張って、恥ずかしがらず、この言葉をまっすぐ伝えます。「幸せになろう。」あなたの、みんなの、これからの。

幸せをまんやかに考えていく、松山市です。



松山市  
Matsuyama City



幸 せ に な ろ う 。  
松 山 市  
MATSUYAMA CITY

市の花「椿」をイメージした赤い輝きは、  
一人ひとりの幸せを表現。  
それがやがて大きな花束になるように、  
個の幸せが集まり、松山全体に広がる未来を描いています。

ウェブサイトやイベント、投票ボードによって投票を募り、  
総投票数2万7,847票のうち、1万166票を獲得したロゴ案を採用しました。

A案

幸 せ に な ろ う 。  
松 山 市  
MATSUYAMA CITY

B案

幸 せ に な ろ う 。  
松 山 市  
MATSUYAMA CITY

C案

|   |   |
|---|---|
| な | 幸 |
| ろ | せ |
| う | に |
| 。 |   |

松 山 市  
MATSUYAMA CITY



|        | A案     | B案    | C案    | 合計     |
|--------|--------|-------|-------|--------|
| ウェブサイト | 5,949  | 5,488 | 5,317 | 16,754 |
| 投票ボード  | 4,217  | 3,462 | 3,414 | 11,093 |
| 合計     | 10,166 | 8,950 | 8,731 | 27,847 |